

第4回全国離島交流中学生野球大会 感想文

チーム名：隱岐の島あんやらーず
氏名：井上 韶

自分にと、これは2度目の体験になった離島甲子園でした。
1回目は地元である隠岐の島での体験で優勝した
かったのですがこの年の優勝チームに負けてしまったの
でくやしかったです。

第2回大会を隠岐でやらせてもら、2年なのに努力賞が
もらえたのでよかったです。

そして、今回の大会は選抜でけ、こう練習してのみ
ました。一つ前の学年が優勝していたので2年連続を
ひどみましたが、初戦の中種子戦ではけ、こう流れもよ
くて、普通に勝てました。2回戦の佐渡選抜に1対0から
逆点勝ちできましたのでよかったです。

3回戦は久米島にまけてしまつたけど、久米島が優勝し
てくれたし、いい思い出にできたのでよかったです。
もう野球はやめたいけどこの離島であつた人にいつもか
またあえたらいいです。
これからは釣りを楽しめます。

第4回全国離島交流中学生野球大会 感想文

チーム名：隱岐の島あんやらーず

氏名：佐藤 流

ほくはこの離島の大会に参加して、
さいごまであきらめなければ、かてるこいを学び
ました。1回戦は、島におうこがいい生ま(た)か
2回戦の佐渡(さと)戦は、7点をとりでかうの
二ヶ所(よこ)すこしくキリ(けり)たては、
みんながさいごまであきらめず声を出して、
応え(おこな)いに投手(うしゅ)にへり(ひ)つたひ(か)
(7-0)からり-8に逆転(ぎやん)いたと思(おも)います。
その時は、本当にうれしくてねがひでうれに泣(な)いて
しまいました。その時は2試合(じあ)あたのではが、
一試合(じあ)に全力(ぜんりゆう)を出(だ)したのか 2試合目(じあめ)は、4-0で
負けてしましました。はじめの目標(めらうひ)は、優勝(ゆしょう)
だったので、負けた事はくわからなかつて
ろくとう成績(せいせき)をおさめることができたので、
よかったです。
こうはいぢには、がんばってゆく勝(かつ)て
隠岐(おき)といふとこを見(み)てまいり
てここまで強(つよ)くしてくれたかんとくやユーリ²
かんじやったいと思(おも)います。

第4回全国離島交流中学生野球大会 感想文

チーム名：隱岐の島あんやらーず
氏名：村上 晃基

ぼくはこの全国離島交流中学生野球大会で2つの事を学びました。1つ目はあきらめないということです。ぼくらあんやらーずは1回戦で勝利して2回戦の佐渡島との対戦の時に初回に4点をとられてしまって2回、3回、4回に1点をとられてしまいぼくらあんやらーずは5回まで1点もとれませんでした。5回に2点をとるて6回に満塁のチャンスで、相手のパスボールなどで、1点ずつとつていきましたが、点数は18対9逆転しました。この時ぼくは「野球の神様って本当にいるんだな」と思いました。2つ目は勝つ喜びです。1試合目もそうですが特に2試合目はきせきの逆転勝ちだったのでとてもうれしかったです。このチームでここまで勝てたのはあんやらーずの監督の平井さんやコーチの二人をして保護者の方々の支えがあったからです。ぼくは高校では野球はしませんが最後のチームがこのあんやらーずで本当に良かったです。

